

日野総合事務所だより



「ごうぎん希望の森・奥大山」(江府町俣野・助澤)での森林保全活動



【つくろうよ みんなが笑顔になれる海】

第31回 全国豊かな海づくり大会



ととりん

昭和56年に第1回が開催されてから毎年、都道府県をめぐりながら開催されているこの大会。

平成23年秋に鳥取県で開催されます。

豊かな海に注ぎ込む清らかな河川の水、その水は豊かな森から流れ出ます。

日野郡の森、川を守り育てることは、鳥取県の海も守り育てることになります。

大会をきっかけとして、環境保全、水産業の振興に目を向け、開催に向けて気運を盛り上げていきましょう。

Contents

| | |
|--------------------------------|---|
| 県民局 (鳥取県日野地区連携・共同協議会の設置) | 2 |
| 日野郡民行政参画推進会議 (第4期第8回会議) | 3 |
| 県土整備局 (日南町の大雨被害) | 4 |
| 福祉保健局 (「自殺予防デー」のお知らせ) | 4 |
| 県民局 (「白うさぎ大使」について) | 5 |
| 農林局 (カラフルピーマン “あまぴー”) | 5 |
| 黒坂警察署 (オウム犯罪被害給付申請のお知らせ) | 6 |
| 日野高校 (日野高校ショップ、田植え交流) | 6 |
| 農林局 (宮崎県口蹄疫防疫作業への派遣レポート) | 7 |
| 日野川フォトコンテストの写真募集 | 8 |
| 自然保護監視員の「野の花だより」 | 8 |

鳥取県日野地区連携・共同協議会を設置しました

日野郡3町と県が協力します！

少子高齢化が進み、社会経済の状況が厳しくなるなか、地方自治体は行財政運営の効率化や地域の課題解決に取り組んでいるところですが、個々の町や県だけでは対応が困難なものがあるのが実態です。

このため、単独町政を選択した日南町、日野町、江府町の日野郡3町と県が連携・共同して、行政サービスの維持、向上や効率的な行政運営を促進するとともに、共通する諸課題の解決に取り組むことを目的とし

て、法定協議会「鳥取県日野地区連携・共同協議会」が設置されました。各団体の6月議会での議決を受けて開かれた平成22年7月23日（金）の設立準備会において、共同で取り組む4分野の事務や規約等について、3町長と県知事のあいだで確認がなされ、正式に協議会が発足しました。

また、続いて行われた第1回協議会では、初代会長として江府町の竹内敏朗町長が選任されました。



協議会事務局となる日野総合事務所県民局の入り口に、看板を設置しました

(左から日南町長、知事、江府町長、日野町長)

法定協議会とは？

地方公共団体が共同で事務を管理、執行したり、連絡調整を行ったりするために設置することの出来る地方自治法上で定められている制度です。運営に必要な経費は、関係する地方公共団体で負担します。

障がい者の皆さんの雇用について

3町と県が共同して、作業所へ委託する仕事を年間を通して計画することで、障がい者の皆さんが継続して仕事を受注できる機会をつくっていきます。

事務用品の共同発注について

3町が共同で必要な用品などの入札を行うことで、購入コストの削減を目指します。

母子保健分野での発達支援について

3町と県が共同で、発達の遅れが疑われる乳幼児等を対象に行う健康診査や健康教室を実施します。

悪質な訪問販売の防止について

3町で共同して防犯週間を設けたり、関係機関との連絡会や研修会を実施するなど、日野郡民の住民の皆さんの安心安全を守っていきます。

問い合わせ先

日野地区連携・共同協議会事務局（県民局企画県民室内）
電話 0859-72-2083



日野郡民会議(平成22年5月22日)

第4期第8回郡民会議を開催しました

第4期最後の郡民会議となった今回の会議は平井知事の出席もあり、委員の方々が郡民会議の任期を振り返って感じたこと、県への提言などを述べられました。

【出席委員の発言】

- ◆ 直接意見を吸い上げてもらうことができて良かった。今後も日野郡のために力を尽くしたい。
- ◆ 県職員の皆さんは積極的に外に出て地域を見てほしい。そうすれば問題点も浮かび上がってくると思う。
- ◆ 今後は、公に作ってもらった会議に出席するというよりは、日野郡をよくしたい思いを持った人を集め、自由な意見を出すことができる組織を作って草の根活動として拡げていきたい。
- ◆ 知事のトップポリシーが重要。無駄のないスリムな県政を望む。職員意識改革をすれば変わると思う。
- ◆ 郡民会議に参加した委員というのは地域の人材となってきたと思う。今後この人材を日野郡や鳥取県の活性化のために活用し、県政につながればよいと思う。
- ◆ 行政に質問、意見を言うと、差し障りのない似たような回答が返ってくる人が多い。時間がかかってもいいので、もっと具体的な回答を望む。
- ◆ 郡民会議によって日野郡に活力が戻り、元気が出るきっかけとなったのではないかな。
- ◆ 行政職員は住民が何か言うまで待つというスタイルではなく、率先して住民に提言なり助言をしてほしい。
- ◆ 高齢者の方を支えているのは、家族や集落のつながりだと思う。今の教育は個人主義教育であり、それは中山間地域づくりに反していると思う。

平成14年10月に設置され、約8年間にわたり活発な議論が重ねられた郡民会議ですが、平成22年7月の第4期委員の任期をもって、一つの区切りとなりました。

この間、会議委員からいただいた様々な意見が県政に反映されたことはもとより、住民参画のモデル、きっかけづくりという意味からも会議の成果は大きかったと思います。

郡民会議は終了しましたが、日野郡3町と県が連携・共同して郡内の課題解決に取り組む法定協議会においても、幅広く住民の皆様のご意見をうかがうなど、今後も住民参画を進めていきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

問い合わせ先

日野郡民行政参画推進会議
事務局
(県民局企画県民室内)
電話 0859-72-2083



日南町生山(新見日南線)

日南町の 大雨被害

～「日頃の備え」と「早めの避難」～

平成22年7月16日(金)の大雨により、日南町で多くの被害が発生しました。

【被害状況】(H22.7.22 時点)

- ① 降雨(日南町下石見観測所) 7月16日13時～20時 124mm
うち15時～17時 100mm
- ② 避難状況 自主避難 8名(日南町福栄地区神福集落)
- ③ 孤立集落 日南町飛時原地区 (7月17日に解消)
- ④ 被害概要 住家……………床上浸水1軒、床下浸水14軒
道路……………新見日南線(生山) ほか
河川……………神戸川(神福) ほか
農地・農業用施設……約280箇所
斜面崩壊……………7箇所

本誌第39号でも詳しくお知らせしていますが、土砂災害については「日頃の備え」と「早めの避難」が一番重要です。日頃から危険な箇所を確認し、普段と違う様子がみられたら、早めに避難しましょう。



問い合わせ先

県民局庶務会計チーム
県土整備局河川砂防課 河川砂防班

電話 0859-72-2081
電話 0859-72-2065

一人で悩まないで

～9月10日は自殺予防デー～

鳥取県の自殺の現状

鳥取県の自殺者数は、全国同様、近年急増し、年間160～190人で推移しています。

H20年に過去最多でしたが、H21年はやや減少しました。しかし、今年は6月時点で、昨年同時期を上回る人数となっています。



日野総合事務所福祉保健局では、毎年、世界自殺予防デーの9月10日を中心に、各町と連携して街頭キャンペーンを行い、自殺予防や心の健康についての正しい知識の普及啓発を行っています。



こころの健康に目を向けよう！

地域全体の取り組みにより、多くの自殺は防ぐことができます。

- うつ病などの心の健康に関心をもち、正しく理解しましょう。早く気づき、適切な治療につなぐことが大切です。
- 身近な人の小さなサインに気づいて！
- 地域での人とのつながりを大切に！

こころの健康相談やっています！

日野総合事務所福祉保健局では、専門医による相談を行っています。

(予約制・無料)

| | | |
|--------|-----------|-------------|
| 10月14日 | 1:30～2:30 | 江府町老人福祉センター |
| 2月23日 | 1:30～2:30 | 日野総合事務所第2庁舎 |

問い合わせ先

福祉保健局福祉保健課
保健衛生係(担当:高橋、柴田)
0859(72)2036

「白うさぎ大使」になって 国造り運動に参加しませんか？



平成23年秋に「第31回全国豊かな海づくり大会」が鳥取県で開催されます。そこで、鳥取県では、海を渡って来た白うさぎの伝説にちなんで、「ふるさとの森・川・海を守り育てる」運動に参加した人たちを「白うさぎ大使」に認定し、県民総参加による新たな国造り運動を展開しています。

白うさぎ大使になるには？

県内各地で行われる下記の活動に参加した方を大使に認定します。

- 放流事業……河川、湖沼、海で実施する放流活動
- 植林事業……「森、川、海」が一体となった自然の循環、環境保全を目的に実施される植林・育林活動
- 環境美化……「森、川、海」が一体となった自然の循環、環境保全を目的に実施される河川、湖沼、海での清掃活動
- 水産業振興… 魚食普及活動、藻場造成活動など

白うさぎ大使になると？

「白うさぎ大使」認定カードを交付します。引き続き、森・川・海を守り育てる活動等に参加していただき、全国豊かな海づくり大会の広報PRについて、口コミ等による広報活動にご協力いただきます。

ご連絡ください！

日野郡内で該当する活動をされる団体で、「白うさぎ大使」に認定についてご了解いただける団体の方は、県民局までご連絡ください。

問い合わせ先 県民局企画県民室 郡民の窓口担当 電話 0859-72-2083



サラダ用カラフルピーマン

“あまぴー”本格始動！

日南町では冷涼な気候をいかして、夏秋ピーマンの栽培が盛んです。中でも特徴的なのが、糖度が9度以上もある高糖度カラーピーマン“あまぴー”です。

見た目にカラフルだけでなく、栄養価も高く、従来のグリーンピーマンのような苦みがなくて、生で食べても甘いとピーマン嫌いの子どもでも喜んで食べられます。

“あまぴー”は成熟果を出荷するので、収穫までの日数が通常のピーマンの2倍程度かかり、病害虫の発生リスクも高くなるため栽培が難しいのですが、栽植密度・仕立て方・品種特性の把握などの試行錯誤を重ね、今年は生産者6戸で約75aを栽培されています。

“あまぴー”は、鳥取県内、大阪への出荷を予定しています。日南町の豊かな大地で素朴な農家が育んだ新たな特産品“あまぴー”、スーパー等で販売される予定ですので、ぜひご賞味ください。



“あまぴー”生産者のみなさん

問い合わせ先 日野農業改良普及所 電話 0859-72-2026

オウム犯罪被害給付申請期限まであと4ヶ月です。

『オウム真理教犯罪被害者等を救済するための給付金の支給に関する法律』が平成20年12月18日に施行されてから1年8ヶ月が経過し、給付金申請期限まであと4ヶ月となりました。

下記をご覧になって、支給対象となる方はお早めに最寄りの警察署に申請してください。

★給付申請期限

平成22年12月17日まで

★支給対象

オウム真理教による地下鉄サリン事件(平成7年3月20日発生)等の犯罪行為の被害者、遺族

★被害者型

- ① 死亡
- ② 障害
- ③ 傷病(死亡・障害をもたらすものを除く)
 - ア 重傷病(通院加療1月以上の傷病)
 - イ 重傷病以外の傷病(通院加療1日以上1月未満の傷病)



問い合わせ先 黒坂警察署 電話 0859-74-0110

日野高校から

日野高校ショップのオープン

5月8日(土)に根雨一番館で今年度最初の日野高ショップが開催されました。開会に先立ち、日野高校郷土芸能部の荒神神楽が披露されました。

豆腐、ジャム、ケチャップ、味噌などは1時間もたたないうちに売り切れ、花の苗も大好評で、大量に購入されるお客様もおられ、活気のある日野高ショップのスタートとなりました。

今後も12月までの第2土曜日午前10時よりオープンしていますので、ぜひお越しください。



田植え交流

日野高校では黒坂小学校との田植交流をしています。今年は、5月26日(水)に黒坂小学校3年生、4年生の14名の児童の皆さんが黒坂施設を訪れ、高校生の指導を受けながら一緒に苗を植えていきました。

その教え学び合う様子は、稲の苗だけではなく、高校生や小学生の心の中に、芽生え育っていく何かが植えられているようにも見えました。

問い合わせ先 鳥取県立日野高等学校 日野町根雨310 電話 0859-72-0365

宮崎県での口蹄疫防疫作業への派遣レポート

宮崎県で平成22年4月20日に発生した口蹄疫は、瞬く間に宮崎県内に拡がり、7月時点で約30戸の畜産農家で発生という、過去に経験したことのない大惨事となりました。発生農場での殺処分、消毒の徹底、移動制限等が行われましたが、感染拡大は防げず国内で初めて口蹄疫ワクチンが使われました。そのため、発生農場だけでなく、ワクチンを打った牛や豚も全て殺処分しなければならず、終息までに約29万頭の牛や豚の殺処分が行われました。

これらの防疫作業には、全国から多くの獣医師、畜産関係者、自衛隊が派遣され、鳥取県では17名が要請を受けて派遣されました。日野総合事務所からは農林局職員1名が平成22年6月20日から6月26日まで宮崎県西都市のワクチン接種牛の殺処分に派遣されました。

以下は実際に防疫作業を行った職員のレポートです。

準備 西都市役所に集合し、白い防疫服を2枚重ねで着用し長靴、ビニール手袋等はすべてガムテープで防疫服に固定し、バスで作業現場に移動しました。幸い、曇りか雨の日ばかりでカンカン照りの日はなかったのですが、それでも防疫服の中は汗まみれで、長靴、手袋の中はチャブチャブ汗の音がするほどです。これらは作業終了まで外すことはできないので、昼食もその姿で取ることになります。

殺処分 西都市はワクチン接種地域のため、埋却場所のない農家は各農場からトラックで共同埋却場に運搬します。木材で作られたつなぎ場(2カ所)に自衛隊が牛を移動し、つなぎ次第殺処分を開始します。鎮静剤で牛をおとなしくさせ、薬液を静脈注射しできるだけ苦しめないように行います。

埋却 殺処分と平行して自衛隊員や地元建設業者により埋却する穴掘り作業が行われています。牛の死亡後、大型シャベルローダーに3～4頭ロープで釣って埋却穴に埋却します。



埋却の様子

～作業を終えて～

5日間で約1,700頭の牛を処分しました。酷い話ですがこれ以上の拡大を防ぐためにはやむを得ないことです。

後半2日間は1,000頭規模の農場でしたが、症状の出ていない牛を全て殺処分することに空しさを感じました。農場の経営者の方は毅然と状況を受け入れ対応されていましたが、心中を察すると言葉にできませんでした。

これから宮崎県では畜産農家が再建に向けて動き出すと思われますが、それにはやはり全国の人が風評被害に惑わされず、牛肉や豚肉を食べていただくことが一番の応援だと思います。

最後に、鳥取県の口蹄疫対策ですが、口蹄疫の進入防止や発生時の防疫対策の体制づくりに全庁をあげて取り組んでいますので、住民の皆さまのご協力をお願いいたします。

【参考】～農林水産省HPより～

Q なぜワクチンを打った家畜を殺さなければならないの？

A ワクチンを接種することで新たな感染や発症を抑えてウイルスを排泄する動物を減らすことにより感染拡大の速度を遅らせることができますが、反面、ワクチンを接種した動物は感染しても明らかな症状を示さず感染が見逃されて他の家畜に病気を拡げたりする可能性があります。口蹄疫を撲滅するためにワクチンを接種した動物の移動を制限し、速やかに殺処分する必要があります。

日野川フォトコンテストの**写真募集!**

日野川は恵み豊かな川です。人々の暮らしや四季折々の風景、街なみ、祭り、史跡文化財など、日野川のすばらしさを広く紹介、宣伝する写真を募集します。ふるってご応募ください。

【テーマ】日野川のすばらしさに関係するもの

【サイズ】フィルムカメラまたはデジタルカメラで撮影した四つ切サイズ程度のプリント作品

【締切り】平成22年11月30日必着

【賞】グランプリ 1点（賞状、副賞3万円、日野川流域の特産品）
金賞 3点（賞状、副賞2万円、日野川流域の特産品）
銀賞 10点（賞状、日野川流域の特産品）
佳作 20点（日野川流域の特産品）

※ グランプリ及び金賞受賞者は表彰します。また入賞作品は展示をします。



【注意事項】応募資格に制限はありません。応募作品は返却しません。

入賞作品の著作権は主催者に帰属し、広報資料として活用させていただきます。

問い合わせ先 日野川の源流と流域を守る会事務局（県民局 商工観光チーム内） 電話 0859-72-2085

自然保護監視員の野の花だより

マツムシソウ（マツムシソウ科マツムシソウ属）

【絶滅の恐れがある野生動植物 鳥取県：絶滅危惧Ⅱ類】



明るい草原にいるマツムシ（昆虫）と同じような環境を好み、「チンチロリン」と鳴く時期に花を咲かせることから「マツムシソウ」と名前がつけられたようです。

日野郡では江府町、日南町に自生しています。草丈は20～90cm。8月～10月に淡い紫色の花を咲かせます。風にゆらめくその姿は可憐で初秋を感じさせてくれます。牧場のような山地草原が少なくなっていることや人の採取により、現在では数が減少しています。

「とっていいのは写真だけ。残していいのは思い出だけ」

日野郡のすばらしい自然をみんなで大切にしましょう。

自然保護監視員が日野郡の自然をホームページで紹介しています。

「しぜんの宝箱～自然保護監視員だより～」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=145929>

★問い合わせ先 福祉保健局福祉保健課 保健衛生係 0859-72-2036

編集発行：鳥取県日野総合事務所県民局 〒689-4503 日野郡日野町根雨140-1

TEL 0859-72-0321(代) FAX 0859-72-2072

E-mail h-kenminkyoku@pref.tottori.jp URL <http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=1700>